

健やかな心と体を育み、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てる体育科学習を目指して
 ～探究的・共同的な学びのある「体づくり運動」の指導の工夫を通して～

発表者 延岡市立延岡小学校 鷹巣 真宏
 司会・進行 延岡市立土々呂小学校 那須 拓真

発言者	内 容
大淀小 安井	・児童に課題を持たせるために写真を使うとあったが、低学年は難しくないか。
赤江小 大脇	・課題を持たせるための手立てはどのようにして行っているか。
沖水小 山本	・全学年にこの内容は当てはまっているのか。
司会者	・本時で行う授業を伝えたいうえで、自分がやりたいことを口頭で発表させる。 ・中学年については例文を用いて、学習の計画を立てさせるようにする。 ・自分の課題に合っていないめあてを立てる児童がいるので、共同的な学びを持たせていきたい。
授業者	・今年度行う5年生についてはポイントを明記して、それに沿って行っていく予定である。
沖水小 山本	・年間指導計画の中での体づくり運動の位置づけと、他の運動領域との関わりはどのようにしてとらえているか。
司会者	・誰でも授業ができるように、文科省から出ている資料を参考に作成した。 ・他の領域との関連についての研究は行っていない。
山之口小 黒木	・探求的な学習と、問題解決的な学習の違いを教えてほしい。
授業者	・体づくり運動の中で「スパイラル型」授業は難しいと感じているが、単元の大きな目標に沿って進めていくように研究を進めている。
司会者	・探求的な学習とは、めあてを立てることが大切と考える。体育の学習以外でもつながりや広がりができるようにしていきたい。
東小 黒木	・ジグソー法を使って、いろいろな運動の中から最終的に一つの運動ができるようにしていく方法はどうか。
司会者	・今後の研究の参考にしたい。